

## 令和2年度 第Ⅱ期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会  
薬学生受入対策委員会

### ① 感想

- 今回は新コアカリキュラムでの初実習となります。細かな実習の計画は立てずに、実践で学んでもらいました。まじめで覚えるのも早く良かったと思います。
- 対応の難しさを感じる学生でしたので、本人が満足する実習内容だったのか多少心配です。
- 今回初めて実習生を受け入れる経験をしました。今までの薬剤師経験を話そうと思い、初めの頃はかなり焦って説明などをしてしまったように思えました。教えるということは自分を見つめなおす良い経験だったと思います。今回の実習生は、とても真面目で真摯に実習に向き合ってくれましたので、楽しく実習を終えることが出来ました。
- 今回、薬剤師としての思いや考えを言葉で伝え、学生には自分で考え、わからないことは随時質問するように伝えていたので、考えを深めることができ、成長も早く感じました。薬剤師の責務を考えること、何ができるのか、何をするのか、そのために不足していることはなにかなど11週間をとおして伝えることで、実習生の経験が繰り返し徐々に深まると感じる事例がいくつかあり、指導者としてもよい経験になりました。実習ノート以外に、「患者のための薬局ビジョン」「調剤報酬に関する原文資料」「薬機法改定資料」RMPの活用の為の資料、AMR、ポリファーマシー資料を渡し活用することを指導しました。「治療薬マニュアル」を持参する学生が多いですが、添付文書はPMDAで常に調べるので、「今日の治療薬」の方がガイドラインなども充実していて使いやすいと感じました。大学には伝えてあります。早期の服薬指導の導入により、患者さんの薬物療法支援において医薬品情報を扱うということ、繰り返し学ぶことができ事例を増やすこと、深めることができました。1週目に退院時担当者会議で事例が始まり、他の事例とともに継続的に関わりました。報告書など作成する機会が多く、実習生も文書作成能力の必要性を感じることができたと考えます。高齢者学級においてポリファーマシーについて準備した資料を再度実習生が構成し、20分くらい話す時間を持つことができました。また子供薬剤師体験会を、実習生が中心になり企画から実践までしてもらいました。学校薬剤師では水質採取、養護教員との検討、消毒薬についての冊子の準備、また薬物乱用防止指導の課題へのコメント記載など考えることは多かったと思います。
- 新コアカリキュラムになって初めての受入れでした。実習の進め方、評価の仕方など何も解からないままのスタートに最初は戸惑いました。やっているうちに「これで良いのかな？」と進めました。具体的に教えてくれる人、相談出来る場があると良かったです。何とか無事に終える事が出来て安心しています。
- 当薬局では2回目の実習生を受け入れとなる。事務も薬剤師もいろいろな質問を受けて教えられるように勉強し良かったものとする。
- コロナ感染症が心配される中、通常の実習より患者と接する機会が制限されていたが、制約がある中でも学生においては積極的に参加してもらえました。
- 学生に学ぶ姿勢がしっかりあり充実した11週が過ぎせたと思います。学習成果基盤型への変更により細かい学習（座学等）に捉われない実践型の実習とする事が出来た。コロナウイルス感染拡大予防のため健康サポート薬局事業が実施できず体験させてあげることができず残念であった。

- カリキュラム変更後、2人目の学生受け入れだったので、前回よりはスムーズに行えたと思います。担当した学生は、非常に明るく積極性のある方でしたので、非常に指導しやすく、トラブルもなく終えることができて良かったです。コロナ状況下でしたので、薬剤師会での研修会等に参加させることができず、薬剤師として、自己研鑽している場を見せることができず残念でした。
- 当初、11週という期間は長いと思っていましたが、実際に指導に当たると業務の間に時間を作って指導したり、外部研修（他薬局等での実習）をしていると教えたい事の全てを予定通りにこなす事は出来ませんでした。また、患者様の理解を得られず投薬してもらう事が出来ない事もありましたが、実習生が為になったと思える様、指導に当たりました。
- コロナ禍で実習開始に不安もあったが、医療人として意識の高い学生さんで、最後まで安心して受け入れができた。元々在宅に興味のある学生さんだったので、出来るだけたくさんの在宅訪問を体験してもらい、医師の往診同行や多職種連携の場への参加もできてよかったと思います。実習最後にも書いてもらったレポートを見て、本人の想い描く薬剤師像が、実習初期より鮮明になっているのが感じ取れました。私達の患者様に対する思いが少しでも伝わっていたら嬉しく思います。

## ② 問題点と今後の課題

- 実践で実習を行ったため、薬局が暇な日は少し手持ち無沙汰になってしまったこと、逆に忙しすぎる時は教えることができなかったことです。
- 指導薬剤師と対で向き合うのではなく複数の指導薬剤師とかわかれたらよかったと思っています。指導薬剤師間での実習内容の共用できるツールがあるとよいと思います。
- 新型コロナの影響がありましたので、薬局スタッフともう少しコミュニケーションがとれば良かったと思っています。ルーブリック評価は良いと思いますが、教えていくためにはもう少し簡単な指標（手順）があればと思います。調剤薬局の業務をし、教えながらということになると、実習期間は忙しく大変でした。実習生が実力をつけた後半は少し余裕もできましたが、そこはそれなりに教えることも増えて・・・
- 大学からの概略評価と日本薬剤師会からの実務実習指導手引きの評価表を併用し評価に根拠がついてきたと思います。県外の会で「実習格差」という言葉を聞き、学生は実習先を選択できないし、選択するにも薬局の情報がわからないとのことで、指導者が考える時だと思っています。富士ゼロックスシステムでの、実務実習実施計画書の作成と活用、実習終了時の評価（大学がペーパー提出を求めたものとは違いますが）について周知いただきたい。
- 今回、流れ（実習の進め方）は理解しました。withコロナでの実習で、出来る事が減ってしまいました。（メーカーの勉強会に出席させたり、在宅担当者会議も中止になったり・・・）集合研修は、やってくれて良かった。欠席した際、その分野はどう対応しようか困った。
- 対人業務を行うように積極的な実習を心がけるように指導はしていたが、最初から最後まで座学を好むような傾向が強かった。1週目から服薬指導を経験させていたが、補足しながら行っても毎回指導内容が浅かった。最初は代表的な8疾患について学んでもらい、3～4週目から服薬指導を行った方が効率的であったかもしれない。成果発表会の資料作りに時間がかかっていた。その分、患者に触れ合う時間が少なくなってしまった。職員の人数が少なく集合研修の際に、職員が車で送り迎えに行くのも難しいことがあり、直接本人に行ってもらったことが多かった。調べ物に時間がかかっており、調剤や服薬指導の件数が少なかった。1日2～3件が限度であった。

- 服薬指導においては患者との距離が近くなる場合（状況によっては）が考えられ、対応してもらおう患者の選択に苦慮した。
- 同一患者に複数回接することは11週の実習期間内においては困難があった。（1名の患者の処方が症状に応じて変化していく様子やそれに対する服薬指導内容の変更）
- コロナ状況下で例年に比べ、感染予防や患者数の減少のため、実習生に服薬指導をしていただく回数が少なくなってしまう、座学や服薬指導の見学が多くなってしまった事が、可哀想であったと思います。同様に病院・施設見学や在宅訪問等の回数も少なくなってしまう、対応が難しかったです。個人として毎回評価にいつも悩んでしまい、過去に受け入れた学生と比較して、評価を行っているのが現状で、評価基準について具体的な内容をもう少し説明していただけると助かります。
- 8疾患全ての投薬をする事が出来なかった。病院で足りない部分を踏まえてフォロー、実習して頂けるとの事。
- コロナ禍だったからか、大学側からの事前説明会はなく、富士ゼロックスのシステムの使い方が正しいのか不安だった。大学からの実習進捗状況確認をもとに到達度評価をしていたが、それを実習中数回システム上でも評価しておかないといけなかったのができなかった。その評価方法を学生もあまり理解していなかったようで、システム上の評価がきちんとできず申し訳なかった。

### ③ 問題点・課題の改善点

- 今回コロナの影響で薬剤師会の勉強会に行けなかったことは残念です。又大学からの連絡が一度のみだった。メールやi-portfoliоからの連絡も一切なかったことが残念です。評価を見た形跡もなし。
- 今回は地域での行事がなくなったため、いろいろな薬剤師、薬局と接する事がなく残念でした。
- 薬剤師会がこれほどまでに実習生を育ててくれるのだとは思っていませんでしたので、集合研修はとてもよかったと思っています。ありがとうございました。調剤薬局だけでは教えられることが多く、実習生にはかなり勉強になったのではないかとと思っています。実習には時間的制限がありますので、実習生の休日の取り方などが難しかったです。
- メーカー勉強会は、インターネットでのwebセミナーやzoomなどでMRさんから対応して頂けるのか？集合研修、出席予定の者が体調不良の際、資料だけもらえるのか？ウエルシアでの研修（御坂）は遠い、甲府市内で対応出来ないか？
- 集合研修を今後も続けて、実習生にやる気を出させる。言葉遣いやマナーが欠けているところも目立った。実習先で注意すべきなのか迷った。
- 集合研修開催場所については再考の必要があると思われる。
- 糖尿病の患者など学生が馴染みやすい症例で薬剤や症状（検査値）が変わっていく（改善していく）ケースを参考資料として用意頂けると実際に実習期間に該当する患者の来局がなくとも安心です。

- 実習での良かった事例や悪かった事例を共有できたり、指導薬剤師同士で相談できる場があると、今後の実習に活かせたり、指導の幅が広がると思います。実習生へのアンケート形式をもう少し具体的に記載できるように変更してもいいのではないかと思います。
- 薬局の規模によって、実習出来る範囲がだいぶ違う。事前に薬局で出来る範囲を大学、地域薬剤師会等と話し合っておき、出来ないと思われる範囲については、早めに近隣の薬局に依頼出来る状態を作っておく。(がんに関しては、あまり薬が出ない薬局も多々あると思うので近隣薬局に協力を依頼したい)
- 大学に出向しての説明会は大変だが、システムの評価方法についてはWebで確認できるとありがたい。

#### ④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- だんだん協力薬局数も減少している、さらに実習期間も今までに比べ半減した。
- 協力薬局の先生方には、薬剤師会同様とてもありがたく、貴重な勉強を実習生にさせていただいたと思っています。実習生からの報告で、他の薬局の話をお聞きすることもでき、個人的にも勉強になりました。スケジュール調整が難しかったと思いますが、薬局での繰り返しの投薬を体験するには課題が残りました。
- 集合研修では、たくさんの経験ができ、またさらに薬剤師として考えることができている。新コアカリでの実務実習のガイドラインを周知し、集合研修について再検討が必要と感じました。授業であり単位がでるので、一度検討が必要だと感じる事例がありました。
- 基幹がやっていない事を体験させました。(ケアマネの話や Dr 往診同行など) 基幹薬局で処方数が少なかったり教え難い分野なので助かります。実習生も有意義だったと言っていました。
- 集合研修で丁寧に教えていただきました。実習生の評価もコメントいただいていたのでわかりやすかった。しかし実際の実習生の理解度は日報を見てもらわないと評価しにくいところもあると感じた。集合研修でも日報をその場で記載してもらった方が良いのかもしれないと感じた。
- 講義、研修内容については好評だったが、集合研修において開催場所で他人との距離が近いところがあり実習生より改善してもらいたいとの指摘があった。
- コロナ状況下でしたが、個人宅の訪問・施設での往診同行・担当者会議の見学と薬局外での業務には極力参加していただき、学生には高評価でした。グループ薬局内での様々な経歴の薬剤師とコミュニケーションをとっていただき、気分転換にもなり、良かったのではないかと思います。
- 今回、複数の薬局に協力して頂きとても助かりました。協力薬局がもっと増えれば実習生もいろいろな薬局をみる事が出来てとてもよいと思いました。
- 漢方製剤と薬局製剤の実習で、独自に協力薬局をお願いしたが、甲府のように外部実習のスケジュールがないのが、学生にとっては少し不安だったようです。

# 実習生アンケート

長期実務実習 第Ⅱ期(令和2年5月25日～8月9日) 11施設11名

アンケート提出者:11名

病院実習 未:11 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			4	7

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
		1	1	9

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
3	7	1

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた1	2	中程度 3	4	合っていた 5
1		2	3	5

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
8	3		

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
		1	1	9

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			5	6

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立つ 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
			2	9

## コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

〈あり〉 7名

・例えば疑義照会などは形式的なものや事前に疎通のとれている内容については、逐一医師に電話するのではなく、事務員を介した確認が行われことが多いなど、現場と講義との差を感じました。

・薬剤師としての患者との関わり方

・投薬時にOSCEで学んだ流れは通用しない。(患者さんが聞き飽きてしまう上、重要な質問をする時間がない)

・大学では吸入器について詳しく触れなかったが実習で触れることができた。

・知っているだけと実際にやるのはかなり異なると実感した。

・症状にあわせて調節するなどの投薬について

・PPIの処方期間

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

〈あり〉 3名

企業 ⇒ 未定     ドラッグストア薬剤師 ⇒ 病院薬剤師     薬局 ⇒ 薬局

〈なし〉 8名

調剤薬局 ⇒ 調剤薬局

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

・いろいろな店舗に連れて行っていただき、めずらしい機械を見せていただいたり調剤させていただいたりすることができて良かった。居宅や施設・往診にも連れて行っていただいて、薬局内の調剤以外もたくさん経験できて良かった。

・様々な実習施設を見させていただき、それぞれの専門性に触れることができました。集合研修についても種類が豊富で内容も充実しており、特に職業選択という点ではドラッグストアや漢方製剤のみに特化した薬局など一般的な薬局と趣を異にする場所・業務を知ることができたことが大きいと感じました。

・服薬指導や薬歴入力、在宅訪問などの実際の薬局業務などに数多く関わらせてもらったので、薬局薬剤師がどういうものかよく分かり、大学で学んできたことの重要性を理解することができた。

・コロナ禍の状況の中でも、地域薬剤師会の集合研修や、県薬剤師会の集合研修等の研修会を開催していただき幅広い勉強ができました。

・今回の薬局実習でピッキング、一包化、服薬指導と薬歴作成、散剤調剤など薬局の一通りの業務を学ぶことができた。集合研修ではOTC医薬品、漢方製剤、スポーツファーマシストの業務について学ぶことができた。また、在宅医療に関わることができ貴重な経験をすることができた。悪かった点としては、積極性が足りなかったと感じた。

・服薬指導において、多くの患者さんと話せるのは良いと思う。やはり実際の患者さんと話をするという事は現場でしか出来ないことなので。

・投薬をより多く行ったことにより、より実践的な内容を学ぶことができた点が良かった。コロナのこともあり、学校薬剤師についてなど実際に見ることができなかった点が残念だった。

・薬剤師の方が、真摯に実習生に対して教えてくれた。とても良いところでした。

・在宅訪問に同行させていただく機会を多く設けていただき、現場でしか経験することができない多くのことを学ぶことができたので良かったです。集合研修では、他の実習生との交流があり良かったです。

・指導薬剤師から質問をされ、答えを応じたところ、人の話を聞いていなかったため、一度、自分の考えを部分否定をし全く同じ内容を解答を提示してくることがあった。本来実習生は薬局内にいないはずなのに、繁忙な時間に指導薬剤師の方がどこかへ行き、自分を頭数に入れて薬局を運営させることがあった(当時、指導薬剤師1人、実習生1人)